



米を食べて志望校合格を

J A あいづが中学生に合格祈願米贈呈

J A あいづから町内3中学校の3年生へ「合格祈願米」を贈る贈呈式は昨年11月27日、町役場で行われました。贈呈式では、J A あいづの佐藤常務理事が「この米は、会津若松市立第六中学校の生徒が手植えし、収穫後は会津美里町の文殊院清龍寺で祈祷をしたコシヒカリです。おいしい会津の米を食べて、全員が志望校に合格するよう頑張ってください」と生徒らを激励し、各校の代表に人数分の米を手渡しました。

前後公町長と土屋重憲教育長も「頂いた合格祈願米を食べて、受験生の皆さんが全員志望校に合格し、未来を担う人材に成長することを期待します」と生徒を励ましました。

生徒を代表して猪苗代中の菅沼一路さんが「皆さんの応援を糧に、私たち受験生は一人一人が精一杯勉強し、全員が志望校に合格することを誓います。高校に入学してからも、勉強や部活など、さまざまな場で活躍し、『猪苗代』の名をアピールしたいと思います」とお礼と決意の言葉を述べました。

写真上_贈呈式に出席した、左から波多野光汰さん(吾妻中)、菅沼一路さん(猪苗代中)、佐藤常務理事、鈴木康之さん(東中)、星野秀正さん(猪苗代中) 写真右_佐藤常務理事から祈願米を受ける星野さん(右)と菅沼さん(中央)



1_1歳児の「がんばれかめさん」(さくらこども園)。子どもたちのかわいらしい姿に、会場からは歓声が上がりました 2_年長児による白虎隊の剣舞(さくらこども園)。わが子の成長した姿に、涙を浮かべるお父さんやお母さんもいました 3_「オオカミと7匹の子ヤギ」(猪苗代幼稚園)。子どもたちが一生懸命覚えた劇を披露 4_年中児のリズム「金魚仮面がやってきた!」(猪苗代幼稚園)



一生懸命な姿に大きな拍手

町内の幼稚園、こども園などで発表会

昨年11月から12月にかけて、町内の各保育所、幼稚園やこども園で保育発表会が開かれました。このうち猪苗代幼稚園とさくらこども園の発表会は11月28日、それぞれ猪苗代小体育館とさくらこども園で開かれ、園児たちが日ごろの練習の成果を披露しました。一生懸命踊りや劇に取り組む子どもたちの姿に、会場を埋めつくした保護者から大きな拍手が送られました。



今シーズンの安全を祈願する関係者

シーズン中の無事故を祈願

猪苗代スキー場で安全祈願祭

猪苗代スキー場の安全祈願祭は昨年12月2日、同スキー場の「I・S・K」で行われました。祈願祭には町内の関係団体やスキー場関係者ら約50人が出席し、玉ぐしをささげて今シーズンの安全を願いました。神事後、山口幸雄猪苗代スキー場組合理事長が「今シーズンは、初めての企画として『いなわしろ冬の花火』を1月と2月に開催するので、たくさんのスキーヤー・スノーボーダーにおいでいただきたい」とあいさつをしました。

冬への備えは万全です

町道路除雪臨時運転手に雇用通知

町の道路除雪臨時運転手の雇用通知交付式は昨年12月2日、町役場で行われました。大川原久夫副町長が除雪班長の古川角次さんに雇用通知を手渡し、「早朝や夜間の勤務、連続勤務など、日常生活を犠牲にして勤務しなければならないことも多々あると思いますが、町民や観光客の皆さんの足を確保するため、しっかりと業務にあたってください」とあいさつしました。



21人の運転手を代表し、雇用通知を受ける古川さん(右)



町役場を訪れ、受賞を報告した酒井さん(右から2人目)

酒井壽さんが県知事表彰を報告

ボーイスカウトで青少年健全育成に尽力

このほど県青少年健全育成条例に基づく知事表彰を受けた酒井壽さん(本町)は昨年11月26日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。この表彰は、酒井さんが日本ボーイスカウト福島連盟猪苗代第1団委員長、同会津地区協議会長などを務め、長年にわたり青少年健全育成に尽力した功績が認められたものです。酒井さんは「受賞は皆さんの支えのおかげ。今後力になれることがあれば協力していきたい」と感謝を述べました。

子どもたちの安全、安心のため

町内の児童、生徒らに内部被ばく検査実施

昨年10月から11月にかけて、町内の各小・中学校、幼稚園、こども園と保育所でホールボディカウンター(WBC)による内部被ばく検査が行われました。この検査は、福島第一原発事故があった2011年以降、県民が安心して暮らせるよう、県が実施しているものです。本町での実施は2013年以来2回目で、県の委託を受けた事業者が町内の各施設を巡回し、子どもたちに体表面汚染検査と車載式WBCによる内部被ばく検査を実施しました。



サーベイメーターによる体表面汚染検査(写真右)と車載式WBCによる内部被ばく検査(写真左)の様子。希望者が対象で、昨年は約1200人が受検しました